

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

# 議会だより

第135号



題字は岸信介先生書

2017年(平成29年)10月27日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査委員会 印刷/キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



## 躍動の秋 伝統の舞

10月1日に八幡宮<sup>やわた</sup>で山口県指定無形民俗文化財「大波野神舞」<sup>なぎなた</sup> 薙刀の舞が舞われました。江戸時代から伝わる伝統芸能でこれからも後世に伝承していきます。

9月定例会・8月臨時会	2P
委員会レポート(決算審査特別・総務文教・経済厚生)	4P
一般質問 6人の議員が町政の課題を問う	7P
研修報告	13P
議会だより134号を読んだ感想です	15P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

29 年度 補正予算

9 月定例会

# 麻郷・浜城地区に地域防災センター着工へ

麻郷・麻里府地区の災害時に避難所としても利用



本 会 議 ( 9 月 11 日 )

## 平成28年度町諸会計決算の概要

### ■歳入歳出の状況

会計名	歳入	歳出	形式収支	
一般会計	58億1,512万円	56億9,602万円	1億1,910万円	
特別会計	国民健康保険	23億2,527万円	22億1,281万円	1億1,245万円
	下水道事業	8億2,557万円	8億2,505万円	52万円
	介護保険	14億6,486万円	14億5,018万円	1,467万円
	後期高齢者医療	2億4,585万円	2億4,575万円	10万円
合計	106億7,670万円	104億2,983万円	2億4,686万円	

### 町長報告

平成29年9月定例会は9月11日から12日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告4件のほか、決算1件、補正予算5件、条例1件及び人事1件の合計8議案を審議しました。なお初日の本会議では、6人の議員が一般質問に登壇しました。

○平成28年度基金運用状況

○平成28年度決算に係る健全化判断比率

○平成28年度決算に係る公営企業の資金不足比率

○平成26年度及び27年度決算に係る健全化判断比率の修正

### 町長提出議案

### 28年度決算認定

### 一般会計及び特別会計

一般会計の歳入総額は58億1512万円、歳出総額は56億9602万円、差引額(形式収支)は1億1910万円の黒字になりました。歳入では、町税が前年度に比べ0.8%減の16億8275万円、地方交付税も2.6%減の19億1903万円です。

また、国庫支出金は地域住民生活等緊急支援交付金の皆減により前年度に比べ7.8%減の6億2866万円、県支出金は子育て支援特別対策事業の完了等により、13.1%減の4億2918万円です。

町債は、臨時財政対策債の減等により8.8%減の2億9720万円です。歳出では、道路橋梁長寿命化計画策定事業や情報セキュリティ強化事業により、物件費が前年度に比べ4.8%増の7億5602万円、繰越金を財源にした財政基金積立金の増により、積立金が107.5%増の1億5200万円、下水道事業特別会計繰出金等の増により、繰出金は3.2%増の10億449万円です。

また、特別会計4会計の歳入合計額は48億6157万円、歳出合計は47億3381万円で、差引額(形式収支)は1億2776万円となりました。

【全員賛成】

29年度補正予算

●一般会計

歳入歳出それぞれ5643万円増額し、予算総額59億8646万円とするものです。

《主な歳入》

地方交付税

769万円増

国庫支出金

2862万円減

繰越金

9353万円増

《主な歳出》

財政基金積立金

5204万円増

公共施設整備基金積立金

2900万円増

住宅費

6902万円減

消防費

1379万円増

【全員賛成】



地域防災センター建設予定地(浜城)

●特別会計

国民健康保険

制度改正に伴うシステム改修や前年度療養給付費の返還等の増額補正です。

【全員賛成】

下水道

国庫補助事業の減額による事業計画の見直しの減額補正です。

【全員賛成】

介護保険

前年度精算や介護給付費準備基金への積立金等の増額補正です。

【全員賛成】

後期高齢者医療

前年度精算や異動等による人件費の増額補正です。

【全員賛成】

条例

介護予防・日常生活支援総合事業等に関する経過措置を定める条例の一部を改正する条例

認知症総合支援事業を半年繰り上げて、平成29年10月1日から実施するための改正です。

【全員賛成】

人事

教育委員会委員の同意

櫻井濟美氏(大国木)が本年10月19日をもって任期満了になるため、引き続き同氏を任命することに同意するものです。

【全員賛成】



櫻井 濟美氏

あなたの要望はこうなりました

陳情

田布施町放課後児童の保育に関する条例に関する陳情

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

提出者) 企業組合 ワーカーズコープ山口理事長 末永 一博

採 扱 継続審査

臨時議会

8月21日



平成29年8月臨時会は8月21日の1日間の日程で開かれました。本臨時会では、専決処分1件、補正予算1件の合計2件の町長提出議案を審議しました。

専決処分

田布施町名誉町民に対する特典又は待遇を行うことについて



吹田 愷先生お別れの会

去る8月11日に逝去された田布施町名誉町民、故吹田愷先生のお別れ会を田布施町主催で挙行了たことの承認です。

【全員賛成】

町長提出議案

29年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1350万円増額し、予算総額を59億3002万円とするものです。

《歳入》

繰越金

550万円増

町債

800万円増

《歳出》

庁舎耐震補強に係る設計委託料

1350万円



庁舎耐震補強イメージ図

【全員賛成】

# 決算審査特別委員会

## 28年度決算

### 地方創生事業に2,390万円 三世帯同居・近居奨励事業など8事業を実施



決算審査特別委員会(9月13日)

「平成28年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置し、9月13日に委員会を開き、慎重に審査しました。審査の結果、全員賛成で認定されました。

地方創生事業の経費については、三世帯同居近居奨励事業や、農水産物ブランド化構築事業などの事業を主に実施しました。

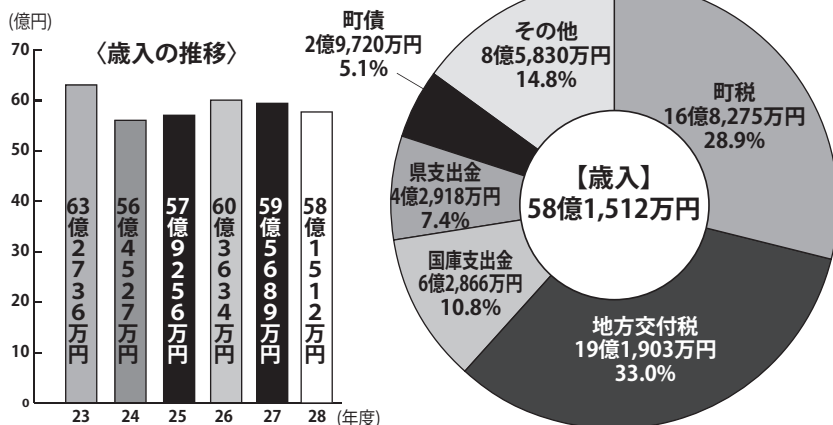
## 平成 28 年度田布施町一般会計決算の概要

### 1. 歳入

町税の徴収率は95.8%で、前年度比1.3ポイント上昇。不納欠損額は572万円。収入未済額は6,816万円で、前年度比で190万円減少した。公平な徴収のために、日頃の地道な業務の積み重ねが、徴収率の上昇及び収入未済額の減少という形で表れている。

税外収入は、収入済額41億3,237万円と、前年度比1億2,865万円減少した。これは、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金等が減少したことによる。

(監査委員による審査意見書より)

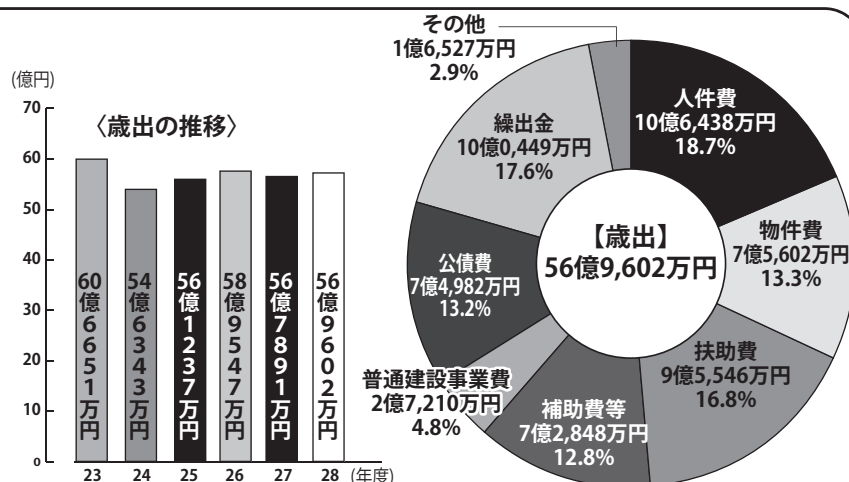


### 2. 歳出

支出済額は56億9,602万円で、前年度に比べ0.3%減少している。

保育所、西田布施公民館、2つの小学校に係る工事が完了したことが主な減少によるものである。

(監査委員による審査意見書より)



### 3. 財政構造の弾力化

(1) 経常収支比率 97.4%(4.3ポイント上昇)

(2) 実質公債費比率 13.1%(0.5ポイント低下)

### 4. 基金・地方債現在高

(1) 基金現在高 15億1,500万円  
(7,237万円増加)

(2) 地方債現在高 110億7,652万円  
(4億6,532万円減少)

# おもな質疑

## Q&A

### 一般会計

#### 歳出

##### ◎議会費・総務費

ふるさと納税

Q ふるさと納税が伸びない原因は。

A 返礼品を寄附額の2割以内に限定しているため。

Q 寄附金使途指定のうち、町長一任の内容は。

A 子ども医療費の準備経費等に充当した。

地方創生事業

Q 農水産物ブランド構築検討事業1458万円の使途・効果は。

A ブランド委員会を設立、会議6回。専門家を招き、講座8回実施。ブランド商品開発33品目考案と進めている。今後は販路拡大・6次産業化に取り組み。

防犯灯補助

Q 防犯灯をLEDに交換したが、切れた場合の対応は。

A 1年間の保証期間内は業者負担。過ぎれば自治会員

担。

◎民生費・衛生費

ファミリースポーツセンター

Q 場所・利用料は。町民に周知しているか。

A 事務所は柳井市役所そばの福祉会館内。利用料は7時～19時が1時間600円。それ以外の時間及び土日・祝日は700円。対象は0歳～小学校6年生。広報掲載や保育園に資料配布し啓発している。

河川等水質検査

Q 水質検査で大腸菌が多いが、原因は。

A 環境審議会や快適環境づくり推進協議会でも話が出たが、原因究明には至っていない。検査項目の数値的には超えているが、問題ない。一斉清掃

Q ダンプの配車は年1回5月だけか。その他自治会で清掃した場合など処理に困る。方法を検討してほしい。

A 今のところ1回、各自治会と相談し配車計画を立て配車している。それ以外については検討する。

◎参加者全員、傷害保険加入しているか。

A 全員加入している。

◎労働費・農林水産業費・商

工費・土木費・災害復旧費

観光協会

Q 観光パンフレットはいつできるか。他市町に比べ見劣りする。

A 協会といっしょに他所同様のものを作成準備している。

竹林整備

Q 1000㎡以下の整備をする場合、支援は受けられるか。

A 町の補助はない。

Q 竹チップの使用状況はどうか。大型のものがあればよいが。

A 稼働率は非常によい。県の補助事業があれば考えたい。

Q 稼働率は非常によい。県の補助事業があれば考えたい。

Q 地域交流館横にバリケードがあるが、中心地でもあ

るし景観面・利便性から取り除いたらどうか。

A 現時点では被害報告を受けていない。

公園整備事業

Q 地域交流館横にバリケードがあるが、中心地でもあ

るし景観面・利便性から取り除いたらどうか。

A 現時点では被害報告を受けていない。

Q 現時点では被害報告を受けていない。

転防止でバリケードをして

いる。全舗装になれば撤去可能。

Q 地域交流館横にバリケード

装に水たまりができるが把握しているか。

A 側溝に流れるように勾配をつけて舗装したが、勾配

が小さいので完璧は困難。

石城山美化事業

Q 以前、山桜をたくさん植

えたが、雑木の影響で枯れている。対策は。

A 植えて10年近くになる。現在対策は考えていない。

◎消防費・教育費

光地区消防組合負担金

Q 27年度に比べ1000万

円の増額。理由は。

A 司令棟更新の起債償還、

A 150万円は生活費等全

て。その他の補助は県が3

分の1、町が10分の1ある。

有害鳥獣捕獲対策事業

Q 町内でムクドリ被害は

あったか。

A 現時点では被害報告を受

けていない。

公園整備事業

Q 地域交流館横にバリケ

ードがあるが、中心地でもあ

るし景観面・利便性から取

り除いたらどうか。

A 現時点暴走防止・迷惑運

転防止でバリケードをして

いる。全舗装になれば撤去

可能。

Q 地域交流館横にバリケ

ードがあるが、中心地でもあ

るし景観面・利便性から取

り除いたらどうか。

A 現時点暴走防止・迷惑運

転防止でバリケードをして

いる。全舗装になれば撤去

可能。

Q 側溝に流れるように勾配

をつけて舗装したが、勾配

が小さいので完璧は困難。

石城山美化事業

Q 以前、山桜をたくさん植

えたが、雑木の影響で枯れ

ている。対策は。

A 植えて10年近くになる。現在対策は考えていない。

人件費の増加、車両・設備

の更新に向けての積立金な

どによる。

英語推進事業費

Q 410万5千円は英語指

導助手の人件費か。何人体

制か。

A 2人体制の人件費。(小

学1名、中学1名)

体育施設整備事業

Q 体育館の太陽光設置、蓄

電設備設置費用は。

A 総事業費約3000万円

のうち約1800万円が蓄

電設備費。

奨学資金

Q 受給者が少数だが理由は

何か。

A 27年改定までは少額であ

ったこと。改定後、広報で

はPRしたが、まだ浸透し

ていないと思われる。

Q 貸与型から給付型にして

はどうか。

A これから研究していく。

◎固定資産税・都市計画税

Q 納税通知書は全てに届い

ているか。土地所有者不在

等の処理はどのようになっ

ているか。

A 相続人不存在、相続人不

明といった場合は届かない。

このような時は滞納処

分の執行停止をする。

Q 地価が下がっていくので

減収になるか。

A 太陽光等の償却資産分が

増額しているためトータル

では増額。

下水道事業特別会計

Q 実質収支で1億1200

万円の黒字になっている要

因は。

A 介護納付金などの減額と

歳入で前期高齢者交付金な

どの増加が要因。

Q 保険料の減額をしてはど

うか。

A 30年度から県運営にな

る。その時点で考えたい。

介護保険特別会計

Q 基金が約5800万もあ

る。使途と保険料の減額は

できないか。

A 急な介護給付の増額対応

の基金。保険料は3年ごと

に計画を見直すのでその時

の状況による。

【全員賛成】



竹チップパー



スポーツセンター太陽光パネル

# 総務文教

総務文教委員会を9月20日に開き、平成29年度一般会計補正予算を審査しました。



総務文教委員会

## 補正予算

### 一般会計

#### マイナンバー

**Q** マイナンバーを家庭でみるには。

**A** マイナンバーカード、ICカードリーダーライタ、パソコンを用意し、利用登録すればみれる。



マイナンバー利用の流れ (内閣府ホームページより)

### PCB

**Q** 一昨年PCB機器処理は済んだはずだが今回なぜ出たのか。

**A** 古い蛍光灯の安定器等が2個見つかった。H39年までに処理する。

### 非常用発電機

**Q** 非常用発電機が故障したが原因は。

**A** 定期点検で発見、燃料系の故障。



非常用発電機



田布施西児童クラブ

### 児童クラブ

**Q** 田布施西児童クラブの工事費は何か。

**A** トイレ、エアコン、電話を工事。

【全員賛成】

(視察レポートについては13ページに掲載)

# 経済厚生

経済厚生委員会を9月15日に開き、29年度一般会計補正予算を予備審査し、29年度特別会計補正予算4件、条例1件、陳情2件を審査しました。



経済厚生委員会

## 29年度補正予算

### 一般会計 (予備審査)

#### 住宅管理費

**Q** 町営住宅長寿命化計画策定委託料は30年後の必要戸数を調べるだけか。

**A** 必要戸数の他、配置計画や民間の住宅、PFIも検討。

### 老人福祉費

**Q** 老人クラブ補助金は連合会に一括で出すのか。

**A** 各単位クラブと連合会に出すものを合わせて予算計上している。

### 介護保険

【全員賛成】

### 後期高齢者医療

【全員賛成】

### 条例

介護予防・日常生活支援総合事業等に関する経過措置を定める条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

### 陳情

田布施町放課後児童の保育に関する条例に関する陳情

【採択】

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

【継続審査】

### 採択された陳情の内容

放課後児童保育の対象が町立小学校の就学児童となっている条例の規定を、町内在住の小学校就学児童に改正するよう陳情があったものです。



波野団地外壁塗装改修工事の様子 (平成22年)

### 児童福祉総務費

**Q** 養育困難な家庭にヘルパーを支援。訪問事業、

### 特別会計

#### 国民健康保険

#### 基金繰入金

**Q** 基金繰入金の減額は。

**A** 前年度繰越金により財源が確保できたため。

### 下水道事業

【全員賛成】

# 9月定例会 一般質問

# 6人の議員が町政の課題を問う

## 一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いたいです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

## 観光事業

### 分かりやすい観光に

國本 悦郎

### パンフを作成する

長信町長  
尾崎教育長



國本 悦郎 議員

**Q** 観光拠点が3ヶ所に分散された経緯と観光情報センターの役割、観光協会が「おいでえ」に常駐している理由は。はゼロウ祭りの中止についての

見解と復活に向けての働きかけは。廃版の観光パンフ等を増刷するつもりは。古墳の案内パンフの作成や駐車スペースは。

**A** 観光協会が広い事務所を要望した。センターは県の観光施策の一環でいきいき館へ設置したが、役割は不十分。はゼロウ祭りは主催者の判断を尊重し、今後復活すればサポートする。観光パンフや遺跡の地図と説明は今年度中に作成予定。駐車場は困難。



廃版になった観光パンフ

## 教育活動

### 教育活動の公開を

國本

ホームページ (HP) の更新はできる 教育長

**Q** 学校は地域の一大文化拠点で、地域で支援すべきものと思う。HPや学校により、行事予定は保護者だけでなく、広く公開する必要はある。HPの更新マニュアルがあり、学校間格差をなくすために研修は。写真アップの同意書は。公民館等に教育情報コーナーを。

**A** 更新マニュアルはあり、誰でも更新できる。「情報教育推進委員会」があり、HPの研修は十分可能。写真等の個人情報掲載の場合はその都度保護者から同意を求めている。HPを通して町内外に情報発信している。各学校では町施設等にも情報紙の掲示を依頼している。



麻郷小学校のホームページ

都市計画税

導入理由と使途の管理は

松田規久夫

国体前年の昭和 37 年導入

長信町長



松田規久夫 議員

Q 課税は地方団体の判断に委ねられている任意税。地方税法に、都市計画法に基づいて行う都市計画事業又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるため税を課すことができる。とある。税を導入した理由と目的税の使途の管理は。

A 都市計画事業が実施されると、所有者の利益が増加。応益税として昭和 37 年度導入。課税する団体は、全国で 38% の 651。町は制限税率の 0.3% を維持。税の使途は明確化し、住民に対しホームページ等による周知を検討。

都市計画税とは

都市計画事業または土地区画整理事業に要する費用に充てるため、市町村内の都市計画区域のうち市街地区域内に所在する土地、家屋に対して課税する。平成 28 年度の都市計画税収は、9,200 万円。納税義務者数は 4,144 人。1 人当たりの税額は 22,222 円。

所有者不明土地

事後でなく事前の対応を 松 田

所有者の死亡に起因する 町 長

Q 新たに所有者不明の土地をださない。不明の土地はどう活用するかの取り組みが必要。土地は価値の源泉だったが、人口減少が本格化する中で重荷となり放置されている。人口減少に比例するように、放棄された所有者不明の土地が増加しそうである。事前対策を。

A 原因の多くは所有者の死亡に起因する。管理に関する問題と町税の賦課徴収に関する問題がある。相続人が移転登記を行わないと、時間の経過とともに追跡調査が困難になる。一自治体で対応できる問題でなく、国レベルで対応方針を示す必要がある。

アピールできる教育環境

中高一貫校要望で存続を

松 田

提案は今後の参考とする

町 長  
尾崎教育長

Q 西地区の保育園は統合となるが、町内 5 地区に幼稚園、保育園がある。高校生は自転車通学圏に普通、農業、工業、商業があり、高専、商船も自

力通学が可能。学校の選択肢は多い。伝統ある熊毛南高校存続のため田布施、平生との中高一貫校を県に要望を。

A 現在、熊毛南高校は県立高校の再編整備計画に入っていない。存続要望を今、する考えはない。中高一貫校は再編整備とは別で、県や平生町との協議が必要になる。本町だけの考えで進められない。提案は今後の参考とする。



熊毛南高等学校



**Q** 佐賀県みやき町では、転入超過、子育て支援宣言、ふるさと納税額も億を越え、全国から視察が絶えない。全体の事業を視ているのがまちづくり課である。各課の意見をまとめ町民に発信し、町民の意見を各課に伝える。これからの時代、まちづくり課が必要では。



西本 篤史 議員

## 新設してはどうか

西本 篤史

まちづくり課

課の新設は難しい

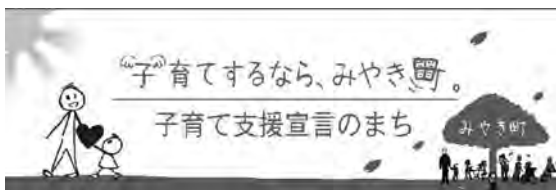
長信 町長



みやき町まちづくり課のロゴ

フェイスブックで町民に発信している

**A** 総務企画課が政策調整。大きな政策課題は、政策調整プロジェクト、経済課が地域振興を担当する。課の新設は、職員数や庁舎スペースの問題もあり難しい。新しい政策課題については、関係課が連携し、必要に応じてプロジェクトを設置し、町で取り組む。



みやき町子育て支援宣言の看板

宣言文書に「未来へのかけがえのない希望である子どもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざすことをここに宣言します。」とある。

## 子育て支援のまち

### 施策をしてはどうか

西 本

### 町独自の施策を検討、研究する

町 長

尾崎教育長

#### 現在の田布施町子育て支援対策

- ・ 子育てに関する相互援助事業、ファミリーサポート事業、児童クラブ運営事業、「一時保育、延長保育、障害児保育等」の保育事業、病児・病後児保育事業、子ども医療費の無償化、やないファミリー・サポート・センター、トワイライトステイ。
- ・ 平成32年度を目標に「子育て世代包括支援センター」の立ち上げを予定。
- ・ コミュニティ・スクール、地域教育ネットワーク、放課後や休日の子育て支援「学習支援ボランティアバンク事業」、たぶせキッズ教室等。

**Q** こどもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざすことで町の将来が決まる。教育施設の整備、放課後対策の専用施設、子どもサポートステーションの整備、コミュニティ・スクールの連携強化。英語教育支援（英会話、英語検）の充実などの施策をしてはどうか。

**A** 放課後対策は、児童クラブやファミリーサポート事業等により、子ども居場所を確保している。今後、「子育て世代包括支援センター」を予定。来年、英語は5・6年が教科化。検定等は、関心を高めていく必要を感じており、検定料補助等は、これから研究する。

小中学生の（英検）検定料

無料にできないか

河内 賀寿

研究する

長信町長



河内 賀寿 議員

Q 8月の総務文教委員会の視察研修先、佐賀県基山町では、平成28年度から、小中学生の実用英語技能検定（英検）検定料が無料とのことだった。（1人につき年1回）。子どもたちの英語力及び学習意欲の向上を図ることが目的とのこと。さて本町も無料化できないか。

A 新学習指導要領では、小学3・4年から外国語活動が、5・6年では英語が教科になる。大学入試改革では、英語の民間検定試験活用の方角性が打ち出されており、その重要性が一層増している。子どもたちの英語力及び学習意欲の向上を図るため、今後研究する。

<実用英語技能検定 検定料>

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
本会場の検定料	8,400円	6,900円	5,800円	5,200円	3,800円	2,600円	2,500円
準会場実施の検定料	-	-	5,400円	4,800円	3,400円	2,100円	2,000円

(公益財団法人 日本英語検定協会ホームページより)

公共施設老朽化

外壁剥がれ対策は十分か

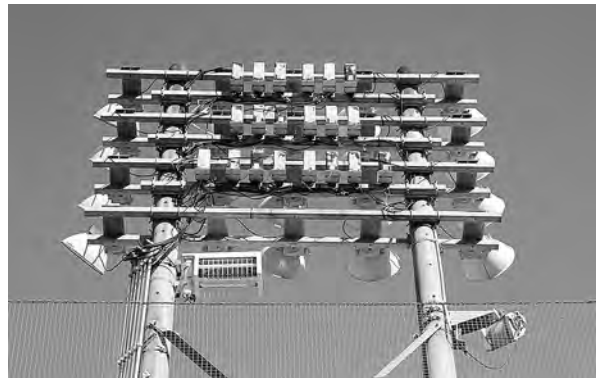
河内

検討する

町長 尾崎教育長

Q 都会では老朽化したビルからの、タイルなどの外壁剥がれが問題になっている。本庁の公共施設の老朽化による外壁はがれ対策は十分か。町民グランドの夜間照明の後ろの箱型設備は、錆だらけだが突然落下の危険はないか。下にネットなど、張ってはどうか。

A 以前、麻郷福祉会館で外壁剥がれ等があったが修繕して対応した。現在、外壁に関する対策は、特に考えていない。夜間照明の後ろの箱型のものは「安定器」で、経年劣化で錆びた状態のものもある。安全対策として、落下防止の何らかの対応を検討する。



町民グランド照明



町民グランド照明(錆付いた箇所も見られる)

# 国民健康保険料

## 上がるのか下がるのか

瀬石 公夫

上がる見込み

長信町長



瀬石 公夫 議員

**Q** 国保は、ほかの健康保険に比べると、加入者の高齢化や収入が低めのため財政が厳しい。来年度から、国保の運営は県で行なわれるが、保険料は上がるのか下がるのか。また全国の多くの市町村が厳しい国保財政に一般会計から繰り入れているが本町も投入しては。

**A** 国保は制度改革により都道府県で運営されることとなる。一般会計からの繰り入れは県の指導等により考えていない。本町の税率は県内では低く、上がる見込みとなる。保険料の急激な上昇を抑えるための緩和措置により、数年かけて県の示す額に近づけることとなる。

### ※制度改革による1人当たり保険料額の比較 (平成29年度)

改革後の今回試算額は、市町保有基金、前年度繰越金、決算補填等目的の一般会計繰入など、市町独自の財源による充当を考慮していないため、実際の保険料の額と異なる。

市町名	現行 (保険料賦課時点) 円	改革後 (今回試算額) 円	増減額 円	増減率 %
下関市	98,533	92,535	▲5,998	▲6.1
宇部市	99,232	92,694	▲6,538	▲6.6
山口市	96,343	107,580	11,237	11.7
萩市	102,842	101,161	▲1,681	▲1.6
防府市	92,802	91,271	▲1,531	▲1.6
下松市	102,776	104,610	1,834	1.8
岩国市	97,196	108,127	10,931	11.2
光市	96,670	107,006	10,336	10.7
長門市	99,431	81,069	▲18,362	▲18.5
柳井市	90,873	99,021	8,148	9.0
美祿市	97,880	91,373	▲6,507	▲6.6
周南市	105,684	96,460	▲9,224	▲8.7
山陽小野田市	96,197	93,957	▲2,240	▲2.3
周防大島町	93,754	97,806	4,052	4.3
和木町	97,336	124,155	26,819	27.6
上関町	81,552	103,303	21,751	26.7
田布施町	82,487	96,704	14,217	17.2
平生町	104,429	92,370	▲12,059	▲11.5
阿武町	99,495	90,164	▲9,331	▲9.4
県平均	98,217	97,855	▲362	▲0.4

山口県国民健康保険運営方針の素案 参考資料 (山口県医務保険課ホームページより)

### PDCAサイクルとは

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法、Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Act (改善) を繰り返すことで、業務を継続的に改善する。

## 地方創生

# 進捗状況は 瀬石

## 進捗に応じ見直す 町長

**Q** 41道府県が前年人口を下回り、東京は7万7千人増と東京圏への集中が進んでいる。地方創生を掲げて、人口減少対策や一極集中是正に取り組んでいるが、効果が今一つ見えない。田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略の5年計画の半分が過ぎたが進捗状況は。

**A** 基本目標の「雇用の創出」「人口の社会的減少の抑制」「地域リーダーの育成」は、しっかりと

施策が進んでいる。しかし、年少人口は予想を超える速さで減少、「結婚・出産・子育て環境の整備」

の展開を検討し、PDCAサイクルにより進捗に応じ見直している。



JOIN移住、交流&地域おこしフェア2017 (東京ビックサイト)

# 青年男女に対する活動支援

## 町としての対策は

竹谷 和彦

### 支援等を検討したい

長信 町長



竹谷 和彦 議員

**Q** 本町は老人クラブの活動が非常に活発で元気な姿をよく見かけるが、20歳代から30歳代の青年男女の姿が見えてこない。かつては本町も青年団活動が活発であったが、町として青年男女に対する支援措置は何か考えているか。

**A** 田布施町連合青年団は、昭和30年の町村合併時に発足したが、次第に団員数は減少し昭和62年に自然解散となつてい



活発だった青年団活動(大文化祭講演会)

## P F I

### 実施について検討は

竹 谷

### 検討を重ねていく 町 長

**Q** 先日、佐賀県のみやき町に視察に行き、町長からPFIについて説明していた。本町でもPFIが実施可能か、今後研究会や勉強会等を行う予定はあるか。

**A** 本町では平成26年頃より、地方銀行とPFIについて意見交換を実施したり、セミナー等に参加して研究しているが、現実に県内でのPFIの事例は少ない。引き続き、活用について検討を重ねていきたい。

## 体育センターの土俵

### 利用状況と今後の活用は

竹 谷

### 活用に向け維持管理する

尾崎 教育長

**Q** 田布施町体育センター敷地内の土俵は、近年使われていないようであるが、いつどういう目的でつくられたものか。今後の活用予定は。

**A** 相撲人気の全盛期の平成元年12月に約440万円かけスポーツセンターに公認の相撲場が整備された。当初は子供会やスポーツまつり等で利用さ

れていたが、最近は利用されておらず利用予定はない。今後の活用に向け維持管理を行いたい。



体育センター土俵

PFI (Private Finance Initiative) とは 国や地方公共団体の事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を図るため、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

# 総務文教視察レポート

8月22日～23日に佐賀県の2町へ視察研修に行きました。基山町では英語力向上のため実施している小中学生への英検の受検料補助について研修を行い活発な質疑が行われました。

みやき町では定住化対策として負担金ゼロのPFIによる公共施設の整備についての研修・視察を行った午前10時～12時の研修会議では、みやき町長より詳しく説明を受け、リーダーの情熱と行動力で町は大きく変わるということを実感しました。



佐賀県みやき町視察研修



佐賀県基山町視察研修



PFI方式で建設された町営住宅(みやき町)

## 熊毛郡町議会議員合同研修会

熊毛郡町議会議員合同研修会が7月19日、平生町でありました。

講演は、山口県健康福祉部障害者支援課の佐藤始課長と村谷利浩主幹を講師に迎え、「障害者差別解消法の施行と地方自治体の取組について」と題して行われました。

障害者差別解消法とは、障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会（共生社会）をつ

くることを目指していること、そして、法のポイントとして、障害を理由として不当な差別的取扱いと合理的配慮の不提供が差別となり禁止されることが述べられました。

次に、あいサポート運動についての説明がありました。

この運動は、一昨年8月から山口県では開始されましたが、実質的にはロゴマークができた12月からとなっています。



誰もが、様々な障害の特性、障害のある方が困っていること、障害のある方への必要な配慮などを理解して、障害のある方に対してちょっとした手助けや配慮などを実践することで、障害のある方が暮らしやすい社会をみなさんと一緒につくっていくことを目的とした運動です。

### まず、障害について理解してください

<p>障害は誰にでも生じ得るものです。</p> <p>病気や事故はいつ起こるか分かりません。同様に障害はいつでもだれにでも生じうるものなのです。</p> <p>周囲の理解や配慮があれば、活躍できることがたくさんあります。</p> <p>目が悪くなれば眼鏡をかけるように、不自由さを補う道具や援助があれば活躍できることがたくさんあります。</p>	<p>障害は多種多様で同じ障害でも一律ではありません</p> <p>障害の種類も程度もさまざまであり、同じ障害でも、その症状は一律ではありません。また、複数の障害を併せ持つ場合もあります。</p>	<p>外見ではわからない障害もあります</p> <p>障害は多種多様であり、外見だけでは障害があることがわからないことも多いため、周囲に理解されず、苦しんでいる方もおられます。</p> <p>障害の種類・程度は人それぞれ違いますが、少しの介助があれば、地域の中で日常生活を送り、障害のない方と同じペースで動いている方や、趣味やスポーツなどで活躍している方もたくさんおられます。</p>
--	--	--



議員合同研修会(7月19日)

# 議会実務 研修会

8月30日山口市で開催された山口県町議会実務研修会、駒澤大学の大山礼子先生による「これから求められる町村議会の役割」の講演会に参加しました。議会改革と住民へのアピールの必要性を学びました。



議会実務研修会



講師の大山礼子先生

## 山口県町 自治研修会



自治研修会

9月26日、山口市で平成29年度山口県町自治研修会が開催されました。本町議会からは議員6名が出席しました。講師は、国立大学法人東京工業大学特命教授・名誉教授の柏木孝夫氏で「どうする？日

本のエネルギー」エネルギーの現状と将来」と題して講演されました。超スマート社会が実現する地方創生、エネルギーの地産地消等、熱い講演には皆聞き入りました。

## モニター懇話会を 開きました

7月26日に議会広報広聴モニター懇話会が開催され10人の方が委嘱されました。モニターは町内5地域の中で、それぞれ2人が選ばれます。懇話会ではモニターの方と議

会広報委員が和やかに話をしました。2年目の方や、初めての方も日頃は議会や議会広報には興味がなかったがこの機会に心を持つようになったとお話されました。



モニター懇話会の様子

## 議会広報広聴 モニターのみなさま

- 永田 京子 (宿井)
  - 高橋 正和 (城南)
  - 梅木 靖子 (大波野上)
  - 土谷伊津美 (大波野中)
  - 赤野 洋二 (竹尾)
  - 梅原 唯廣 (矢蔵)
  - 叶 宏子 (蓮輪)
  - 平松 恭子 (浜城)
  - 大内久美子 (尾津東)
  - 中坪 哲治 (中郷)
- (敬称略)

# 議会だより

## 134号を読んでの感想です

モニター一年生

叶 宏子

子どもたちのしゃがみ声、親子の会話、そして漁協や地域の皆さんと触れあう姿。そんな和気あいあいとした様子が、表紙の地引網体験の写真から伝わってきました。しかも、リレー随筆から、この体験への応募が定員オーバーだったことを知り、馬島への人気の高まりを感じました。

このたび、議会広報モニターを依頼され、今までよりも関心をもってページをめくりました。6月の定例会の一般質問の様子は、Q&A形式で写真も入れながら簡潔にまとめて書かれていて分かりやすかったです。予算の歳入や歳出など具体的な数字が出されているのは、表やグラフで表すのと、もっと分かりやすいのではないかと感じました。

◆お礼◆  
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

モニター一年生として、もつとこの町の事について知り、町行政について関心を持っていきたいと思っています。

対岸の火事ではない

赤野 洋二

テレビで「変わるアメリカ軍岩国基地」を放送していた。沖縄と新たに厚木基地から空母艦載機が移転してくると岩国は東アジア最大規模の米空軍基地となる。北の喧伝している在日米軍基地へのミサイル攻撃に備え、市は訓練を実施している。「ミサイルが発射されました。頑丈な建物や地下に避難してください。」の放送があると母親は子供を抱えて避難する。シェルターかと思っただけだった。笑ってしまった。

134号の質問で2人の議員さんが質問をしていた。「弾道ミサイル落下時の対応についての反響は」「ミサイル攻撃時やテロの対応は。」いずれも「特に反響はない」「法律に基づいて対処する」と切迫感はない。岩国とは至近距離にある。対岸の火事ではないと思う。さらに掘り下げた審議を切望する。

夏休みの自由研究に

土谷伊津美

今まで漫然と議会だよりを読んできましたが、今回改めて町議会の内容の情報を公開広報してくれている機関紙があるのは有難いことだと感じました。一般質問はわかりやすく、町にどんな問題があるのか、議員の方などのような意見や質問を持つておられるのかを知るよい機会であり、いろんな視点で町政を見ることができます。

また、町の将来に関する計画や、教育関係については、若い人たちに関心を持つてほしいと思います。未来の町政を担っていくのは、今の若い人たちですから。さらに子供たちも、夏休みの自由研究の材料にこの議会だよりを利用するのは良いアイデアではないでしょうか。子供だけではなく、親や祖父母と一緒に読んで話したりしていくことで、町政に親しみ、政治が身近なものになっていくのでは、と思います。

更なる地域活力を

中坪 哲治

議会だよりモニターを引き受けて、初の感想投稿にあたり、134号を読ませていただきました。先ず、表紙の町子連主催の馬島で遊ぶ(地引網体験)には多くの親子が参加され存分に楽しめたことが伺えます。また、イベントに参加された方々は、馬島の魅力を町内外の知人等に発信された事と思います。

次に、議員各氏の町政への提言の中で、「共助」の活動が必要であるとの趣旨に、小中学生の社会貢献、社会参加は学校を核として地域住民の参画を促進しながら「共助」の心を育て地域未来を切り開く人材を育てて行くとの頼もしい回答でした。65才以上(買物弱者予備群)の割合が益々多くなる里山周辺地域で、頑張っているのも65才以上です。若い世代の人材育成に胸を弾ませつつ、「共助」の心持ちを再確認いたしました。

議会だよりを読んで

高橋 正和

このたび議会だよりのモニター役をいただき、日頃目にしない単語を調べながら読ませていただいた。

6月定例会一般質問の「弾道ミサイル落下時の行動について」を読んで思い出したことがある。8年前に町政モニターになった頃、北朝鮮の実験ミサイルが秋田、岩手上空を通過し太平洋に落下したことがあった。モニターとして発言の機会があり、「もしミサイル攻撃されたらどうするか?」とありえないと思いつつ質問したことがあるが、今の世界情勢では冗談でなく、まさに現実化し緊迫状態である。6年前の東日本大震災、つい最近では九州北部豪雨災害など甚大かつ予測不可能な自然災害が多く発生している。自分の住む町では起こらない他人事のように思いがちであるが、日頃から身の安全と防災意識を持つべきだと強く感じる。

# まんじゅしゃげ 曼殊沙華



瀬石 公 夫

フェイスブックに、以前、田布施川を春には桜、秋には彼岸花で町の名所にしておくと、田布施川の彼岸花の写真をアップした。沢山の「いね」を頂いた。

真っ赤な彼岸花、「何だか不気味」という人もいれば、「あの妖艶さが好き」「この花を見ると癒される」という人も

いる。いずれにしても心の奥に残る花である。

「曼珠沙華 行く雲遠く 人遠く」と著書「花壇」の中で井上靖が詠んでいる。

彼岸花、幼少の頃から秋の稔りの時季には必ず咲く、日本人が原風景として思い描くであろう秋の風景、これからも残したいものだ。

# 健康維持に努力



谷 村 善 彦

昨年12月12日突発性難聴で大和病院に入院した。今まで聞こえていた右耳が突然全く聞こえなくなりパニック。病院に行くと即入院。

それから一か月間、午前、午後と点滴治療、約6時間。両耳でなかったことは幸せと思う。一ヶ月の入院がどれだけ体力を失ってしまったかを経験。現在も元には戻らない。健康には自信があっただけにショックだ。これ以上進まないようにと、毎朝夕の腹筋運動、サークルでのダンス、指導、畑仕事、歌会、カラオケで努力。

衰えは早い回復は難しい。維持だけに生きがい求めて過ごす毎日です。

## 議員リレー随筆

## 平成29年度 町議会広報クリニック・広報研修会

平成29年7月6日、東京都内で開催された広報クリニックに國本・竹谷の両委員が、また、同じく都内で9月29日に開催された広報研修会に谷村委員が参加しました。

講師で広報コンサルタントの芳野政明氏による町議会広報誌への的確なアドバイスは今後の議会だよりを発行する上で大変参考になりました。



## 議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会（3月、6月、9月、12月）と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

なお、本会議での傍聴席は30席設けています。

【問合せ先】  
議会事務局  
☎(522-5800)

### 12月定例会の日程(予定)

11日	本会議 (初日) (一般質問)
13日	経済厚生委員会
15日	総務文教委員会
20日	本会議 (最終日)

※いずれも午前9時から  
※正式には12月5日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

## 編集後記

今年の夏は地球温暖化のせいか田布施もあついで夏でした。

あついと言えば、今回の議会では、先日佐賀県みやき町に行政視察に行った議員たちのあつい一般質問が相次ぎました。

みやき町の視察では町長自らあついまちづくりについて語られました。

アイディア次第で町の人口は増え、町は活性化するものだと感じました。まさに高度成長期のようにでした。今まで行った視察の中で一番良かったとの意見も出ました。

田布施のまちも、もっとあつくなつてほしい。

(西本篤史)

- 議会広報広聴調査委員
- 委員長 河内賀寿
- 副委員長 西本篤史
- 委員 谷村善彦
- 委員 國本悦郎
- 委員 竹谷和彦
- 委員 國安和夫